

# これまでの取り組み経緯について

平成 29 年 12 月 19 日

第6回石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ  
(略称:幌向再生ワークショップ)

# 1. ワークショップ等の開催経緯

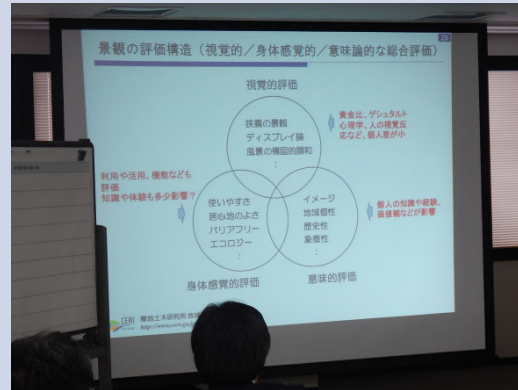
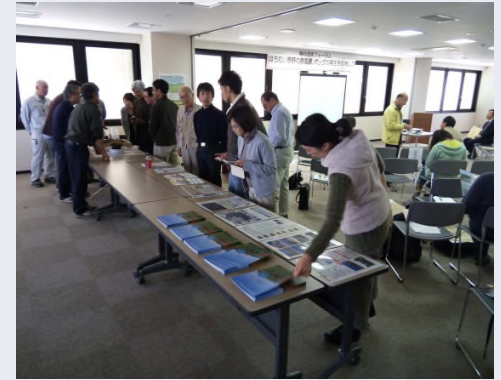
- 「石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ」を、平成26年2月24日（第1回ワークショップ）に設立し、これまで5回のワークショップと現地視察を2回開催している。
- 第5回ワークショップ（H28. 12. 22）では、遮水整備の効果、湿生植物の導入計画、利活用に向けた取り組み方針について議論した。
- 今年度は、湿原再生と利活用・地域連携に向けた検討をさらに充実させるため、『湿原再生ミーティング』、『利活用ミーティング』の2つの会議からなる検討体制を設立した。

	開催日	主な議題
第1回WS	H26. 2. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ」の設立</li> <li>■ 石狩川下流域における取り組み状況</li> <li>■ 石狩川下流幌向地区の自然再生について</li> </ul>
第2回WS	H26. 3. 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 『石狩川下流幌向地区自然再生実施計画書』策定</li> </ul>
現地視察	H26. 7. 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップメンバーによる現地視察</li> </ul>
第3回WS	H27. 2. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遮水試験の実施方法について</li> <li>■ 湿生植物の導入手法について</li> </ul>
現地視察	H27. 9. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップメンバーによる現地視察                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 幌向再生地（現地状況、湿原植生再生試験、遮水盛土試験）、意見交換会</li> </ul> </li> </ul>



# 1. ワークショップ等の開催経緯

	開催日	主な議題
第4回WS	H27. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遮水整備の実施方法および幌向再生地の管理について</li> <li>■ 湿生植物の導入手法について</li> <li>■ 幌向再生の利活用について</li> </ul>
幌向湿原 フォーラム	H28. 10. 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幌向自然再生の取り組み紹介</li> <li>■ 地域活動紹介               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮島沼水鳥湿地センター</li> <li>・ 新篠津ツルコケモモを守る会</li> <li>・ カラカネイトンボを守る会</li> <li>・ ふらっと南幌</li> </ul> </li> <li>■ 幌向再生地現地視察</li> </ul>
第5回WS	H28. 12. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 遮水整備の経緯と本施工後の遮水効果について               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 遮水整備の経緯、本施工の実施状況、本施工後の遮水効果</li> </ul> </li> <li>■ 湿生植物の導入手法とH29年度導入計画について               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 導入スケジュール、湿生植物・ミズゴケ属の導入手順、導入種の種苗採取・育苗管理状況</li> <li>H29年度導入計画</li> </ul> </li> <li>■ 幌向再生の利活用について               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 目標とする自然景観、利活用に向けた課題、地域連携の取り組み事例</li> </ul> </li> </ul>



## 2. これまでの主な意見

	主な意見	対応状況	
第5回WS (H28. 12. 22)	遮水整備の経緯と遮水効果について	<ul style="list-style-type: none"> <li>遮水整備による水質環境について今後も分析する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観測、遮水効果を検証（資料-2）</li> </ul>
	湿生植物の導入手法とH29年度導入計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>渇水期の水位観測結果を確認した上で重点区域を設定し、秋に湿生植物の移植を開始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月までの表層地下水位・地下水水質結果等を基に重点区域を設定した。</li> <li>初期導入は10月下旬～11月に実施した。（資料-2）</li> </ul>
	幌向再生地の利活用とH29年度取り組み計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信・PRについて、フォーラムやワークショップは継続することが重要。ただし、色々な専門の方が繋いでいけるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域イベントを通じて、事業の情報発信・PRを実施した。（資料-3）</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々や学校等で苗づくりの説明を行うことを検討してほしい。種採りからの移植体験等を通じて地域の関心があがると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域イベントを通じて、湿生植物の移植体験を実施した。ミズゴケの育苗方法をまとめた冊子を配布（資料-3）</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ビューローや生涯学習センターにパネルやミズゴケ展示を行うことも可能では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミズゴケ展示物を作成した。今後、南幌町内に常設展示予定。（資料-3）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページは静的な情報だけでなく、動的な情報が重要。手間をかけず皆で発信できるとよい。</li> <li>生涯学習等の中で講座を設けることも考えられる。段階的に実施できるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、検討していく。</li> </ul>		

# 3. 事業の進捗および計画

- 平成28年度までに遮水整備等の基盤整備を実施。
- 平成29年度に重点区域を設定し、初期導入種を導入開始。
- モニタリング等調査を継続。問題点などが確認された場合には適宜管理手法、計画の再検討、修正を行う。
- 利活用検討・地域連携などを継続

	～H28	H29	H30～
基盤整備	遮水整備工	効果検証・観測	遮水効果の継続観測 再生地下段(川側)の整備
植生導入	採取・育苗増殖	採取・育苗増殖 重点区域の設定 初期導入種の移植開始	採取・育苗増殖 段階的な植生移植 (初期導入～中期・後期導入)
モニタリング 調査	水位・水質観測 植生調査など	水位・水質観測 植生調査などを継続	水位・水質観測 植生調査などを継続
利活用計画	利活用検討、地域連携など	利活用検討、地域連携など継続	利活用検討、地域連携など 継続